

石 財 政 第 6 6 号
令和5年10月20日

各 部 局 長 様

財 政 部 長

令和6年度予算編成方針について

令和6年度予算編成方針を別紙のとおり定めましたので、各部局におかれましては内容を十分にご理解頂くとともに、予算編成に係る各種作業について遺漏の無いようよろしくお願ひします。

(財政課財政担当)

令和6年度 予算編成方針



令和 5年10月
財 政 部



目次

I 重点施策	P1
II 予算編成の基本方針	P2
III 財政収支見通し(仮置き)	P7
IV 予算編成スケジュール	P8



I 重点施策

令和6年度予算編成にあたっては、以下の重点施策に基づき、市民生活に寄り添った行政サービスの充実と地域経済の発展に資する施策を推進する。

(1) 「こどもまんなかまちづくり」の推進

(2) 地域資源を活用した脱炭素社会の実現

(3) DXによる市民生活の資質向上

(4) 地域の魅力向上と選ばれるまちづくり

(5) 地域共生社会の実現

(6) 多様な人材による持続可能な地域社会の構築

(7) 社会インフラの強靱化



Ⅱ 予算編成の基本方針

(1) 予算編成の基本的な考え方

(2) 各部局からの予算要求について

(3) 部局間連携及び民間団体等との協働の推進

(4) 時代の変化に応じた財源・資源の掘り起こしの徹底



(1) 予算編成の基本的な考え方

- ◎「第5期総合計画」及び「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる目標の達成に向けた施策と、市民生活を取り巻く環境変化や社会変容に対応した施策を推進する。
- ◎「重点施策方針」に則った事業を推進し、効果的な政策の融合と戦略的な施策の展開を図る。
- ◎「財政運営指針」に基づく市債発行額の適正化等、財政規律を遵守し、将来世代に過度な負担を残すことなく、持続可能な行財政基盤を構築する。
- ◎「公共施設等総合管理計画」に基づく検討や施設の現状を把握し、可能な限り次世代に負担を残さない、効率的・効果的な公共施設等の最適な配置の実現に努める。



(2) 各部局からの予算要求について

- ◎ 予算要求内容の説明責任を果たすため、客観的なデータ・根拠に基づいた事業構築を行うとともに、事業の必要性や効果、課題等を整理・検証すること。
- ◎ 予算編成にあたっては「枠配分方式」を採用することとし、各部局長の徹底したマネジメントの下、配分枠に収めた上で予算要求すること。
- ◎ 物価・原油価格高騰等の状況を踏まえ、行政運営に支障をきたさないよう、状況の変化に適切に対応した予算要求に努めること。
- ◎ 新規ソフト事業の予算要求は特定財源の確保を基本とし、特定財源を見込めない単独事業は、既存事業の見直し等により財源を捻出すること。



(3) 部局間連携及び民間団体等との協働の推進

- ◎部局間連携が求められる課題に対しては、関係部局間で十分な協議・調整を行い、状況に応じ、複数の課や部局が連携して予算要求を行うこと。
- ◎課題解決に向け、関係部局や市民団体等との協議の経緯や調整の過程、議会議論等を明確化し、課題の整理と議論の熟度を高めた上で予算要求を行うことを徹底する。
- ◎多様化する行政課題・地域課題の解決に向け、市民団体や企業等との協働に努めるとともに、ステークホルダーの声を的確に把握することで、複眼的な事業構築を推進する。



(4) 時代の変化に応じた財源・資源の掘り起こしの徹底

- ◎ 「DX・GXの推進」、「こども・子育て政策の強化」、「地方への人の流れの強化等による個性をいかした地域づくりの推進」、「防災減災、国土強靱化を始めとする安全・安心なくらしの実現」、「人への投資」など、国が優先して実施する施策については、より有利な特定財源の確保に努めること。
- ◎ 国の経済対策（2023年度補正予算）による補助事業活用のほか、国・道のホームページ、官庁速報（iJAMP）等を活用した情報の捕捉に努めること。
- ◎ ふるさと納税（企業版含む）の受け入れ拡大やクラウドファンディング等の民間活力獲得につながるような、魅力ある事業を構築すること。
- ◎ これまで民間企業と締結した連携協定を活用した事業の構築を推進すること。
【主な実績】道の駅での健康増進イベント、アンガーマネジメント講座開催（明治安田生命保険相互会社）、体重測定会に栄養食品提供（大塚製薬株式会社）、フィールドグッドフェス出展、海岸清掃でのごみ袋提供、がん予防Webセミナー開催（第一生命保険株式会社）など



Ⅲ 財政収支見通し(仮置き)

(単位:百万円)

歳入			
項目	R6見込	R5見込	増減
市税	9,600	9,450	150
地方譲与税・交付金	2,400	2,354	46
地方交付税	7,728	7,763	▲35
臨時財政対策債	92	130	▲38
前年度繰越金	1	607	▲606
財政調整基金取崩	0	593	▲593
その他一般財源	2,088	2,274	▲186
特定財源	13,253	14,545	▲1,292
うち市債	2,738	2,138	600
合計①	35,162	37,716	▲2,554

歳出			
項目	R6見込	R5見込	増減
人件費	4,196	4,190	6
公債費	2,912	2,969	▲57
扶助費	7,814	7,636	178
特別会計支出金	2,899	2,948	▲49
一部事務組合負担金	1,434	1,550	▲116
基金積立金	2,059	2,089	▲30
投資的経費	2,879	2,835	44
その他経常経費等	11,269	13,499	▲2,230
合計②	35,462	37,716	▲2,254
①-②(財源不足額)	▲300	0	



IV 予算編成スケジュール

令和5年

11月 9日(木)

予算要求書提出期限(経常・政策いずれも)

11月21日(火)~22日(水)

第1回市長ヒアリング(概要説明)

11月27日(月)~

財政課ヒアリング

12月中旬~

財政部長ヒアリング

令和6年

1月上旬

第2回市長ヒアリング(予算査定)

1月下旬

地財計画、最終調整

1月下旬

予算案内示、予算案確定

2月上旬

報道発表